

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和4年12月14日(2022.12.14)

【公開番号】特開2022-30768(P2022-30768A)
 【公開日】令和4年2月18日(2022.2.18)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-030
 【出願番号】特願2020-134987(P2020-134987)
 【国際特許分類】

G 0 8 G 1 / 1 6 (2 0 0 6 . 0 1)
 B 6 0 W 5 0 / 1 4 (2 0 2 0 . 0 1)
 B 6 0 W 4 0 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 B 6 0 W 6 0 / 0 0 (2 0 2 0 . 0 1)

10

【 F I 】

G 0 8 G 1 / 1 6 C
 B 6 0 W 5 0 / 1 4
 B 6 0 W 4 0 / 0 4
 B 6 0 W 6 0 / 0 0

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年12月5日(2022.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、

30

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部(105)と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを、その切り替えの原因である交代原因の種類も区別して特定するシチュエーション特定部(102)とを備え、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションの前記交代原因の種類に応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させる車両用表示制御装置。

40

【請求項2】

請求項1において、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代を前記運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションか否かに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容を変更させる車両用表示制御装置。

【請求項3】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少

50

なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部（105）と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部（102）とを備え、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代を前記運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションか否かに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容を変更させる車両用表示制御装置。

【請求項4】

請求項2又は3において、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記交代原因の発生以後に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記運転交代後に表示させる情報を前記運転交代が完了する前に先行して表示させる先行表示を行わせる一方、前記交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記先行表示を行わせない車両用表示制御装置。

【請求項5】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部（105）と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部（102）とを備え、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代を前記運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生以後に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記運転交代後に表示させる情報を前記運転交代が完了する前に先行して表示させる先行表示を行わせる一方、前記交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記先行表示を行わせない車両用表示制御装置。

【請求項6】

請求項4又は5において、

前記表示制御部は、前記先行表示を行わせる場合、前記運転交代が完了するまでは、前記交代指示表示も前記先行表示に併せて行わせる車両用表示制御装置。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項において、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代後に前記運転者に向けて表示させる運転

10

20

30

40

50

交代後表示を含み、

前記運転交代後表示は、前記車両の周囲についての情報を含むものであって、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、前記交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合よりも、前記車両の周囲についての情報の詳しさの度合いが低い前記運転交代後表示を行わせる車両用表示制御装置。

【請求項 8】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、

10

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部（105）と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部（102）とを備え、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代後に前記運転者に向けて表示させる運転交代後表示を含み、

20

前記運転交代後表示は、前記車両の周囲についての情報を含むものであって、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、前記交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合よりも、前記車両の周囲についての情報の詳しさの度合いが低い前記運転交代後表示を行わせる車両用表示制御装置。

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 において、

前記表示制御部は、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合には、前記車両の周囲についての情報として、前記車両の自車線及び周辺車線の情報を含む前記運転交代後表示を行わせる一方、前記シチュエーション特定部で特定する前記シチュエーションが、前記交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、前記車両の周囲についての情報として、前記車両の自車線及び周辺車線のうちの自車線のみの情報を含む前記運転交代後表示を行わせる車両用表示制御装置。

30

【請求項 10】

請求項 9 において、

前記車両の自車線への前記車両の周辺車両の割込みがあるか否かを特定する割込み特定部（103）を備え、

40

前記表示制御部は、前記車両の周囲についての情報として、前記車両の自車線及び周辺車線のうちの自車線のみの情報を含む前記運転交代後表示を行わせている状態で、前記割込み特定部で前記割込みがあることを特定した場合には、その運転交代後表示を、前記車両の自車線に加えて周辺車線の情報も含む前記運転交代後表示に変更させる車両用表示制御装置。

【請求項 11】

請求項 9 又は 10 において、

前記車両の運転者が自発的に前記車両の制御権を取得するための操作であるオーバーライドを検出するオーバーライド検出部（104）を備え、

前記表示制御部は、前記車両の周囲についての情報として、前記車両の自車線及び周辺

50

車線のうちの自車線のみを含む前記運転交代後表示を行わせている状況で、前記オーバーライド検出部で前記オーバーライドを検出した場合には、その運転交代後表示を、前記車両の自車線に加えて周辺車線の情報も含む前記運転交代後表示に変更させる車両用表示制御装置。

【請求項 1 2】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、

前記車両の車室内に表示面が向くように前記車両に設けられる表示器（90）と、

前記表示器での表示を制御する、請求項 1 ~ 1.1 のいずれか 1 項に記載の車両用表示制御装置（10）とを含む車両用表示制御システム。

10

【請求項 1 3】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、

少なくとも 1 つのプロセッサにより実行される、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを、その切り替えの原因である交代原因の種類も区別して特定するシチュエーション特定工程とを含み、

20

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションの前記交代原因の種類に応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させる車両用表示制御方法。

【請求項 1 4】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、

30

少なくとも 1 つのプロセッサにより実行される、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代を前記運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、

40

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションか否かに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容を変更させる車両用表示制御方法。

【請求項 1 5】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、

少なくとも 1 つのプロセッサにより実行される、

50

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代を前記運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生以後に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記運転交代後に表示させる情報を前記運転交代が完了する前に先行して表示させる先行表示を行わせる一方、前記交代原因の発生よりも前に前記交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、前記先行表示を行わせない車両用表示制御方法。

10

【請求項 16】

自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、

20

少なくとも1つのプロセッサにより実行される、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される場合に、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、

前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される前記車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションに応じて、前記運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、

前記運転交代に関する表示には、前記運転交代後に前記運転者に向けて表示させる運転交代後表示を含み、

30

前記運転交代後表示は、前記車両の周囲についての情報を含むものであって、

前記表示制御工程では、前記シチュエーション特定工程で特定する前記シチュエーションが、前記渋滞時自動運転から前記要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、前記交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合よりも、前記車両の周囲についての情報の詳しさの度合いが低い前記運転交代後表示を行わせる車両用表示制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本開示の第1の車両用表示制御装置は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部(105)と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを、その切り替えの要因である交代要因の種類も区別して特定するシチュエーション特定部(102)とを備え、表示制御部は、シチュエーション

50

特定部で特定するシチュエーションの交代要因の種類に応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させる。

上記目的を達成するために、本開示の第2の車両用表示制御装置は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部(105)と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部(102)とを備え、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、運転交代に関する表示には、運転交代を運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションが、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生よりも前に交代指示表示を行わせるシチュエーションが否かに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容を変更させる。

10

上記目的を達成するために、本開示の第3の車両用表示制御装置は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部(105)と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部(102)とを備え、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、運転交代に関する表示には、運転交代を運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションが、交代原因の発生以後に交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、運転交代後に表示させる情報を運転交代が完了する前に先行して表示させる先行表示を行わせる一方、交代原因の発生よりも前に交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、先行表示を行わせない。

20

30

上記目的を達成するために、本開示の第4の車両用表示制御装置は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられ、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御部(105)と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定部(102)とを備え、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、運転交代に関する表示には、運転交代後に運転者に向けて表示させる運転交代後表示を含み、運転交代後表示は、車両の周囲についての情報を含むものであって、表示制御部は、シチュエーション特定部で特定するシチュエーションが、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合よりも、車両の周囲についての情報の詳しさの度合いが低い運転交代後表示を行わせる。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本開示の第1の車両用表示制御方法は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、少なくとも1つのプロセッサにより実行される、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを、その切り替えの要因である交代要因の種類も区別して特定するシチュエーション特定工程とを含み、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションの交代要因の種類に応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させる。

10

上記目的を達成するために、本開示の第2の車両用表示制御方法は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、少なくとも1つのプロセッサにより実行される、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、運転交代に関する表示には、運転交代を運転者に指示する旨の表示である交代指示表示を含み、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションが、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因の発生よりも前に交代指示表示を行わせるシチュエーションか否かに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容を変更させる。

20

上記目的を達成するために、本開示の第3の車両用表示制御方法は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、少なくとも1つのプロセッサにより実行される、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションが、交代原因の発生以後に交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、運転交代後に表示させる情報を運転交代が完了する前に先行して表示させる先行表示を行わせる一方、交代原因の発生よりも前に交代指示表示を行わせるシチュエーションの場合には、先行表示を行わせない。

30

40

上記目的を達成するために、本開示の第4の車両用表示制御方法は、自動運転のうちの、車両側のシステムが全ての運転タスクを実施可能な自動運転を、少なくとも渋滞時を含む条件に限定して実施する渋滞時自動運転と、運転者も運転タスクを実施しなければならない要運転者運転とが可能な車両で用いられる車両用表示制御方法であって、少なくとも1つのプロセッサにより実行される、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される場合に、渋滞時自動運転から要運転者運転への運転交代に関する表示を行わせる表示制御工程と、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される車両のシチュエーションを特定するシチュエーション特定工程とを含み、表示制御工程では、シチュエ

50

ーション特定工程で特定するシチュエーションに応じて、運転交代に関する表示のタイミング及び内容の少なくともいずれかを変更させるものであり、運転交代に関する表示には、運転交代後に運転者に向けて表示させる運転交代後表示を含み、運転交代後表示は、車両の周囲についての情報を含むものであって、表示制御工程では、シチュエーション特定工程で特定するシチュエーションが、渋滞時自動運転から要運転者運転への切り替えが要請される原因である交代原因が渋滞の解消でないシチュエーションの場合には、交代原因が渋滞の解消であるシチュエーションの場合よりも、車両の周囲についての情報の詳しさの度合いが低い運転交代後表示を行わせる。

10

20

30

40

50